

施策指針 3 便利で快適に暮らせるまちづくり

清須市は、3本の川に挟まれた平野部に位置しており、水辺空間などに潤いの機会を求めることができますが、密集した市街地が多く、日常生活の中で市内にゆとりの場を求めることは必ずしも容易ではありません。

また、市街地についても、狭い道路や小規模な建築物の密集する地区が多く、防災面やゆとりある快適な暮らしの実現という観点から多くの課題があり、市街地の整備や都市景観の整備に向けた取組みが求められています。

さらに、市内の交通網についても幹線道路を含めて交通量に見合った幅員や車線数が確保できず、道路混雑を招くケースが多発しています。特に近年は、名古屋市を中心とする中部圏の産業活動が活発になっていることから、交通量はますます増加することが見込まれています。

清須市は名古屋市に隣接する大都市圏の一翼を担う都市であり、これにふさわしいゆとりと利便性をもった都市基盤の整備は、ますます大きな課題となっています。

このような問題意識のもとで、公園緑地の整備などを通じてゆとりの空間を確保しながら、市民と事業者にとって高い利便性と快適性をもったまちをつくるために下記の施策を推進し、これを通じて「便利で快適に暮らせるまちづくり」を推進します。

○ 施策指針 3 に基づく主要施策

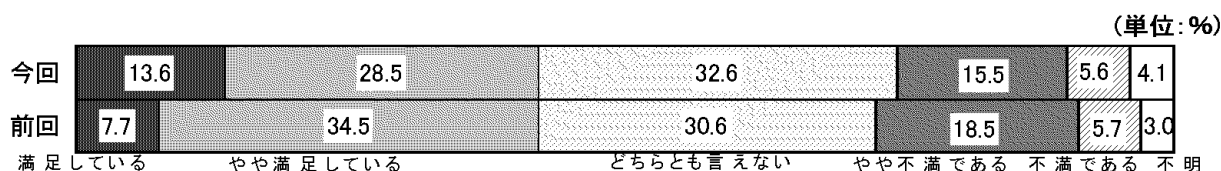
- 1 公園・緑地の充実
- 2 環境保全・緑化の推進
- 3 市街地整備の推進
- 4 都市景観整備の推進
- 5 道路・橋りょうの充実
- 6 公共交通の充実

1 公園・緑地の充実

市民の憩いの場を確保するために、近隣公園や緑地を整備します。また市民が気軽にスポーツや健康づくりに取り組めるよう、運動施設の適切な維持管理に努めるとともに、河川敷や堤防道路の有効活用を図ります。

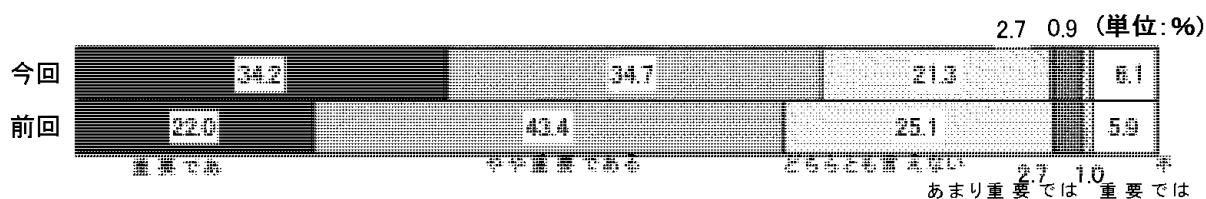
(1) 満足度・重要度調査結果

① 満足度



(前回調査からの満足度増加ポイント順位 32 / 36位)

② 重要度



(前回調査からの重要度増加ポイント順位 26 / 36位)

(2) 主な回答理由

回答理由項目	内容
公園・緑地の整備の推進	公園、緑地を整備した後の管理に問題がある。 公園が汚い。狭い。遊具が少ない。 木蔭で一休み出来るような場所が欲しい。
公園・グラウンドの新設	市内中心部の公園と周辺部の公園の整備や建設に違いがありすぎる。 ビオトープのような生き物とふれあえる公園が多く欲しい。
公園・緑地の整備への疑問	公園にトイレがあると便利ですが、防犯上危険。 公園等で子どもが遊んでいるところを見たことがない。 そんな事に税金をつかうことが望ましいのか疑問。
整備以外の改善点、問題点	ボール遊び禁止とよく見かけますが、今の子はどこでボール遊びをしているのだろうと不思議である。 小さい子どもが遊んでいる隣で、大人や中学生が球技をしている。少しは規制すべき。
現状に満足	公園も多く、よく整備されている。 季節ごとの花が咲き、草が生えることなく整備されている。

(3) 所見

満足度・重要度ともに、前回調査との比較では、ポイントは上昇しているものの、低い上昇率にとどまっている。今回調査の他の項目との比較においては平均をやや上回る水準となっている。

公園整備の進展に関しては一定の評価をしているものの、「子どもが安心して遊べる公園への要望」「地域的な公園の不足感」といった、公園の機能や地域間での格差が不満の要因となっている。

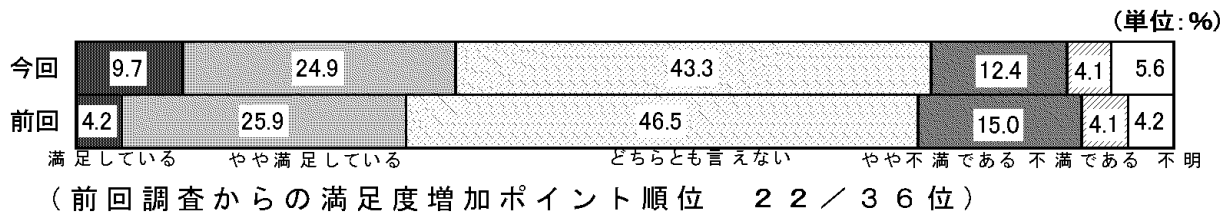
また、公園管理上の問題として、公園におけるボール遊びの規制や球技に対する賛否両面からの意見にみられるような利用方法の問題提起も多い。

2 環境保全・緑化の推進

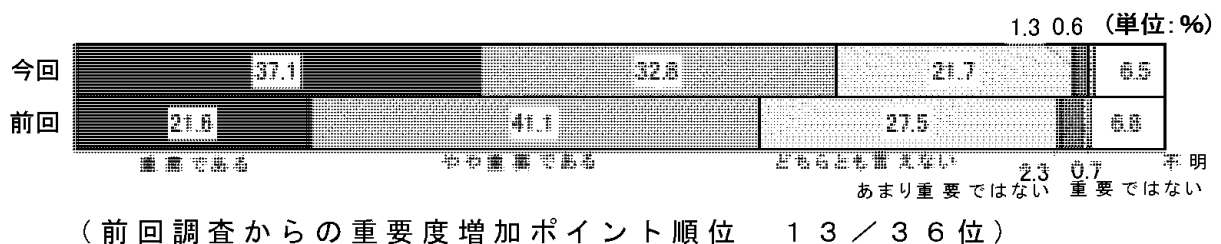
都市化が進む中で貴重な緑地を守るために、緑化を促進するなど潤いのある都市空間の形成を目指します。また、関係機関との連携のもと、大気汚染をはじめ騒音、悪臭、振動を抑制するために公害防止対策の充実を図るとともに、不法投棄等を抑止するための対策強化を図ります。

(1) 満足度・重要度調査結果

① 満足度



② 重要度



(2) 主な回答理由

回答理由項目	内容
緑・街路樹の整備・管理	手入れされた緑地は必要、放置するなら無い方がまし。 街路樹が少なすぎる。街路樹があまり目立たない。 緑化をもっと積極的に行って欲しい。
ごみの不法投棄対策	不法投棄の後始末が出来ていない。 堤防などの不法投棄の取り締まりをして欲しい。 月1回程度でもパトロールしていただけると良い。
河川美化の要望	河川周辺の草刈りを定期的に行う。 水質改善を進めて欲しい。
緑化の整備・管理への疑問	緑化推進の整備状況がよく分からない。 ここ数年で緑化が進んだとは思わない。
タバコ等のポイ捨て対策	ポイ捨て禁止の立て札、ステッカーを配布して欲しい。 煙草の吸殻を捨てるような事にも、罰則を設けて欲しい。
動物被害の対策	ペットの飼主のマナーが悪いので、注意喚起をPRして欲しい。

	野良猫がごみ袋をあさって散らかし不潔、野良猫を無くして欲しい。
悪臭対策	工場からの排気の対策をして欲しい。 庭や畑でごみを燃やすのを規制して欲しい。

(3) 所見

満足度に比べ重要度のポイントはかなり上昇し、36項目の平均をやや上回る水準となっている。

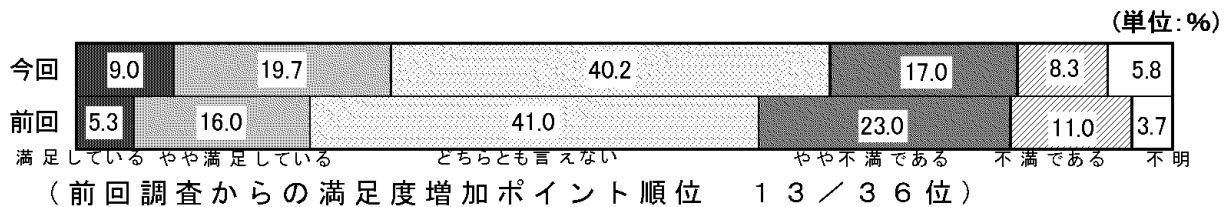
「街路樹が少ない」「緑化が進んでいない」等の意見にみられるように、住民の目に見える施策項目であることから、緑化のさらなる推進が求められている。また、「不法投棄の取り締まり強化」「堤防の除草作業」「河川美化の推進」等を求める意見が多く、こうした環境美化・保全への意識の高まりが重要度上昇の要因と考えられる。

3 市街地整備の推進

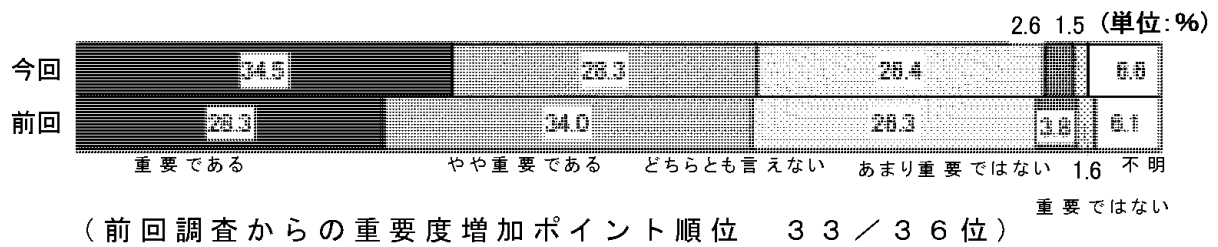
市内に拠点となる都市空間をつくり清須市の活性化に貢献することを目指して、公共交通の利便性が高い鉄道駅における魅力的な空間整備を行います。また、居住環境や防災等の安全性の高いまちを形成するために、区画整理をはじめ、適切な手法による市街地整備を推進します。

(1) 満足度・重要度調査結果

① 満足度



② 重要度



(2) 主な回答理由

回答理由項目	内容
駅周辺整備の推進	駅に歩道橋を設置して欲しい。駅周辺が不便。 ベビーカー、車イス用エレベーターを作って欲しい。 駅前開発をもっと進めて下さい。
駅周辺開発等への疑問	信号等が増えないか心配。車の渋滞も心配。 駅周辺開発について、情報が伝わってこない。 本当に良い事であれば税金を使用する価値はあるが、現在何を するのか全く分からない。
道路の整備	車で入れない生活道がとても多い。 人も自転車も車も安心して走れる道が必要。 駅周辺は緊急車の出入り不可な道幅が多く、区画整理が必要。
市街地の整備	他の市に比べると、店舗が少なすぎると思います。 商業施設を多く設置し、駅周辺を繁栄させて欲しい。

(3) 所見

満足度の前回調査との比較では上昇しているものの、今回調査の他の項目との比較においては5番目に低い水準になっている。

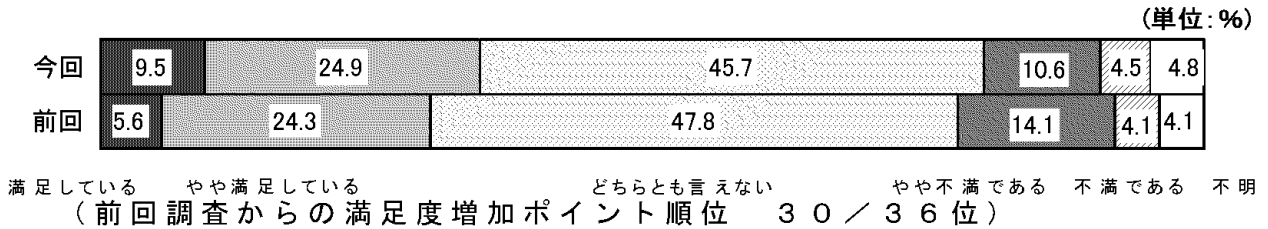
駅周辺開発や土地区画整理の推進については、事業の推進が地域の活性化につながるとの期待感から、肯定的な意見が多数を占める。しかし、事業の進捗に期間を要することから、「早期の事業着手」「事業計画等の情報提供」を求める意見が多数を占め、他の施策項目に比べ満足度が低い水準に留まったと考えられる。

4 都市景観整備の推進

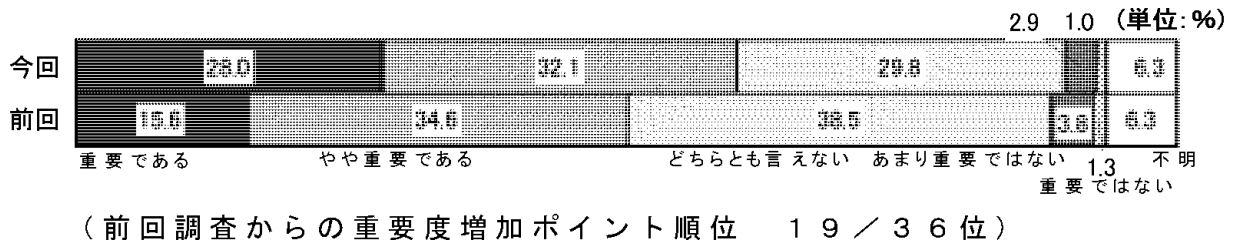
都市の快適性を高める良好な景観の形成を図りながらまちの個性を創るとともに、美しい都市景観を生み出すために適切な指導と規制に努めます。

(1) 満足度・重要度調査結果

① 満足度



② 重要度



(2) 主な回答理由

回答理由項目	内容
街路樹の管理・植樹	全体的に緑が少ない。 害虫の駆除や剪定などの管理はもっと気をつけて欲しい。 見通しを良くして欲しい。
街路樹以外の草木の管理	街路樹の維持も大切だが、除草も大切。 道路にはみ出した枝や草など交通の妨げになり、視界が大変悪い。 こまめな除草対策をして欲しい。
街路樹の管理・植樹についての提案	手入れが少なくて済む樹木を植え、管理費をかけないようにした方が良い。 維持管理にシルバー人材センターやボランティアを活用するべきではないか。 街路樹・植樹帯はそれぞれその場所に適した品種を選ぶ必要がある。
景観美化の推進	美しい都市景観を現状より増やして欲しい。 景観を良くする、保つためにも緑化を進めて欲しい。

指導、規制の徹底	民家の植木のはみ出し、非耕作地の雑草等にも行政指導を強く進めるべき。 建物外壁の色規制についても、町並みとしてふさわしい一定枠の色基準を決めると良い。
五条川沿いの桜について	清洲公園近くの五条川沿いの桜の木がなくなってしまっていて残念。

(3) 所見

満足度・重要度ともに、密接な施策である「20 環境美化・保全活動」と類似した調査結果となっている。

街路樹については、「害虫の駆除」「落葉の清掃」「視界を遮る枝や草の除去」等管理に関する意見が多く、景観や緑化のために街路樹は重要であるが、害虫や落葉対策などの管理を十分にしたうえで進めてほしいという意向が強い傾向にある。

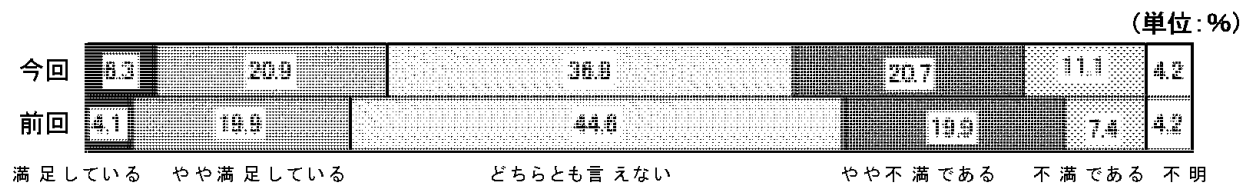
5 道路・橋りょうの充実

現状で混雑が激しい広域幹線道路や地域内幹線道路を中心に、国や県と連携して道路網の整備に努めます。あわせて安全でスムーズな通行ができるよう、鉄道や河川、他の道路との交差や道路改良を継続的に実施します。

また、歩行者や自転車が安心して通行できるように、暮らしに密着した生活道路の整備を行うとともに、段差解消など安全で快適な歩行空間の創出を進めます。

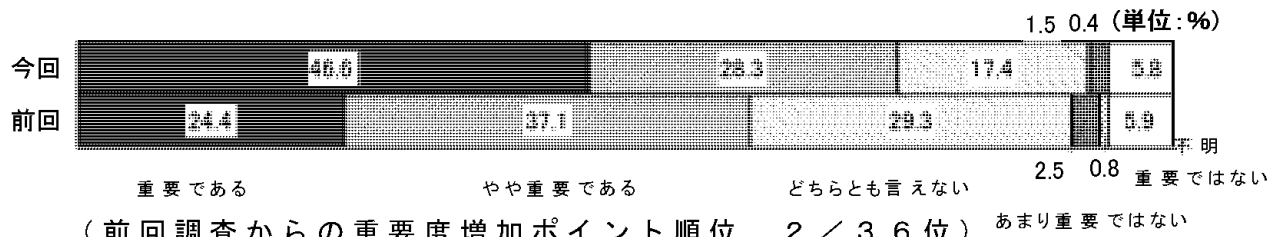
(1) 満足度・重要度調査結果

① 満足度



(前回調査からの満足度増加ポイント順位 36 / 36位)

② 重要度



(2) 主な回答理由

回答理由項目	内容
歩道・自転車道の整備充実	歩道のない道、あってもすれ違うのに困難な道が多すぎる。 歩道の割れや穴が気になる。 段差の大きい場所のバリアフリー化の推進。
道路の改善	道が狭く、その割に交通量が多い為危険。 補修して、よりよい通行、安全を心がけてもらいたい。
道路整備に対する疑問・問題点	市道の整備には莫大な予算が伴うから、交通量、安全性、利便性等十分考慮してから行って欲しい。 幹線道路の交通量の増加に伴う騒音、振動等の軽減もお願いしたい。
信号等の設置・改善	信号は歩行者分離機能を導入して欲しい。 十字路、T字路等、見通しの悪い所にミラーを設置してほしい。

	特に畑の多い所、ハウスや樹木で確認しにくい所がある。
踏切の改善	歩行者・自転車だけの踏み切りを自動車を通れるようにしてほしい。 車の通行をなくして、歩行者・自転車だけの通行にしてほしい。
路上駐車・放置自転車対策	夜になると路上駐車が増え、安全面が良くない。 迷惑駐車を取り締まりを厳重に行う。

(3) 所見

満足度の前回調査との比較では、36項目中唯一ポイントが低下しており、36項目中最も低い満足度となっている。対照的に重要度は36項目中2番目に高い上昇率となっている。満足度が低く、重要度が高いことから、改善が求められている項目となっている。

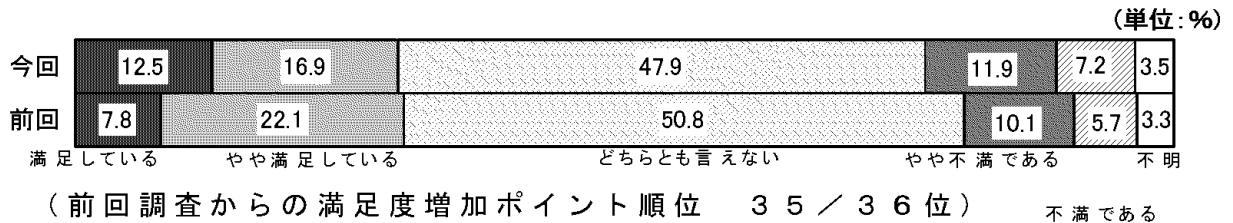
車両・歩行者いずれの視点からも、利便性の向上よりも安全確保のための改善を求める傾向にある。

6 公共交通の充実

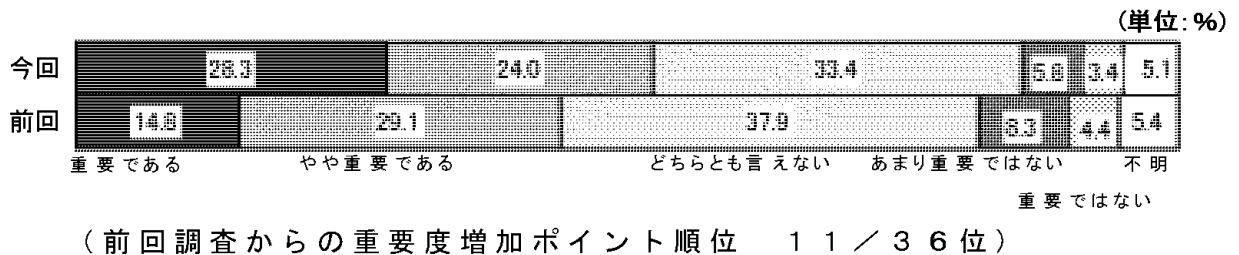
市民が自家用車に依存せず容易に移動ができるよう、鉄道以外にも市民が利用しやすい「足」の確保に努めます。

(1) 満足度・重要度調査結果

① 満足度



② 重要度



(2) 主な回答理由

回答理由項目	内容
あしがるバスの充実、改善	今の運行状況はなかなか利用しづらく、運行回数を増加して欲しい。 コース通りではなく、臨機応変に活用できるシステムも作って欲しい。 高齢者にとって、大切な日常移動手段であり、料金を無料にすべきである。
運行の継続を希望	使ったことがないけど、あったら便利だと思う。 車の無い人の移動に便利で、安いのも良い。 お年寄りには重要であると思う。
あしがるバスの必要性等に関する疑問	利用客がいないので不要と感じる。 市民の利用状況により、今後どうするか考慮する必要がある。 利用が少ない場合は止める等、運営コスト面を含め考えて欲しい。
PR不足	もっと多くの市民が利用し、便利な運行ができるようにPRも必要だと思う。高齢者が利用するイメージがあり、利用できない。

(3) 所見

満足度・重要度ともに、他の項目との比較においては平均よりも低い水準となっている。

施策の推進を求める意見については、「利用しづらい」「運行回数を増してほしい」「高齢者にとって重要な交通手段でありその充実が必要」という意見がある。

一方、「乗客が少ないので不要」「費用面も考えて欲しい」など、運行に対する疑問や費用対効果の検討を求める意見もある。

この賛否両論の意見が、満足度・重要度が平均よりも低い水準に留まっている要因になっていると思われる。